令和8年度

大分県教育委員会の重点方針

― 変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造に向けて ―

◆人口減少や少子高齢化、グローバル化の進展、社会のつながりの希薄化、国際情勢の不安定化など、複雑・困難で予測困難な時代の中、本県の全ての子どもたちが、予測できない未来に向けて自ら社会を創り出していくことができるよう、子どもたちに必要な力を多面的に捉え、総合的に育むことが重要です。

◆特に学校教育においては、各学校が、マネジメントを機能させ組織的課題解決力の向上を図ることにより、いじめ・不登校など複雑・多様化する教育課題の解決に向けた持続的・発展的な教育活動を実現させることが不可欠です。

◆「大分県長期教育計画－「教育県大分」創造プラン2025－」を踏まえ、以下に掲げる取組を通じ、「一人一人の豊かで幸せな人生の実現」と主体性や創造力などを備えた「持続可能な社会の創り手の育成」を目指します。

学校教育

1. 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進

○単元（題材）を通して「どのような資質・能力を育成するのか」を念頭に置いた授業づくりの推進（新大分スタンダードの改訂）

○「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）」を踏まえた産業人材の育成など、県立高等学校の教育改革の推進

○高校における遠隔授業受信校の拡大や、幅広い学力層に対応した学習用コンテンツの配信などによる、遠隔教育の一層の充実

○大学や企業等との連携や、ICTを効果的に活用した総合的な探究の時間等の充実

○特別支援学校と小・中学校との交流及び共同学習における、効果的な実践方法の構築

○ビブリオバトル等子どもが主体となった読書活動や、保護者への幼児期からの家庭読書の啓発を通じた読書好きな子どもの育成

○多様なスポーツ・文化芸術活動の機会確保に向けた、大分県地域クラブ活動等指導者人材バンクの活用促進

2. 社会の変化に対応する教育の展開

○海外大学等との遠隔講座や海外研修・留学支援などによる、グローバル人材育成の推進

○企業による出前授業、地元企業でのインターンシップなど地域・社会や産業界との連携によるキャリア教育の推進

○情報モラル教育の推進に向けた、効果的な教材や出前授業の充実

3. 安全・安心で質の高い教育環境の確保

○ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰや登校支援員の配置拡充、家庭や警察等関係機関との連携強化等による、いじめ・不登校の未然防止・早期対応の徹底

○安全マップの作成やデジタル技術を活用した、災害体験など実践的な防災教育の推進

○県立学校の計画的な長寿命化や、体育館空調などの施設整備の推進

○帰国・外国人児童生徒が安心して学べるための、日本語指導支援員の派遣充実

○県立学びヶ丘中学校（夜間中学）におけるコース別授業（国・数・英）の設定や、学生サポーターの導入など個別の学習支援の充実

学校教育

4. 信頼と対話に基づく学校運営の実現

○Web出願システムの導入など校務情報化の推進等による、効率的・効果的な支援体制の構築
○地域学校協働活動推進員の配置促進などを通じた、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との連携強化
○SNS等を活用した教職の魅力発信や、有給インターンシップ制度の導入などによる教員確保対策の強化
○専門スタッフ等の配置や生成AIの利活用など、「業務量管理・健康確保措置実施計画」の着実な実施による働き方改革の推進
○メンタルダウンの防止に向けた、若年期からのメンタルヘルス支援の推進

社会教育

5. 共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

○子どもの科学への好奇心や探究心の育成に向けた、体験型子ども科学館O-Laboの講座充実
○障がい者の学びの機会充実に向けた「かたろうえ大分」での情報発信強化や、学びの拠点「おおいたユニバーサルカレッジ」の拡充
○多様な人権課題に対応した講師の活用促進による、人権教育の推進
○市町村の家庭教育支援体制の充実に向けた、支援部会未設置地域への伴走支援強化
○子どものスマートフォンやインターネット利用に係る、トラブル防止に向けた保護者への啓発推進

文化財・伝統文化

6.文化財・伝統文化の保存・継承と魅力発信

○市町村の「文化財保存活用地域計画」への継続的な指導・助言等を通じた地域の活性化
○収蔵資料や現在見ることのできない遺構、民俗文化財などのデジタル化による文化財・伝統文化の保存・継承
○子どもガイドの育成や企画展の開催など、大友宗麟生誕500年に向けた機運の醸成

スポーツ

7. 生涯にわたってスポーツに親しむ機会の充実

○総合型地域スポーツクラブから企業への講師派遣などによる、働く世代に対する運動・スポーツ実施機会の創出
○地域スポーツ指導者の養成・確保と資質向上のための、大学等と連携した研修体制の充実
○スポーツ医科学を活用したサポート体制の推進や、国際大会出場に要する経費補助などによるトップアスリート支援の強化
○競技体験機会の確保や競技団体との連携による、国際大会や全国大会で活躍できるジュニア選手の発掘・育成